

## 平成 18（2006）年の世界と日本の年平均気温について（速報）

2006 年の世界の年平均気温の平年差は+0.30℃で、統計を開始した 1891 年以降では 1998 年、2005 年、2003 年、2002 年に次いで 5 番目に高い値となる見込みです。

2006 年の日本の年平均気温の平年差は+0.41℃で、統計を開始した 1898 年以降では 11 番目に高い値となる見込みです。

### 世界の年平均気温

平成 18（2006）年の世界の年平均気温（陸域における地表付近の気温と海面水温の平均）の平年差\*<sup>1</sup>（速報値）は+0.30℃で、統計を開始した 1891 年以降では 1998 年、2005 年、2003 年、2002 年に次いで 5 番目に高い値となる見込みです。世界の年平均気温は、長期的には 100 年あたり 0.67℃の割合で上昇しています（図 1）。特に近年は気温の高い状態が続いており、最近の 10 年（1997～2006 年）はすべて統計開始以後の 11 位までに入っています（別紙）。

### 日本の年平均気温

平成 18（2006）年の日本の年平均気温の平年差\*<sup>1</sup>（速報値）は+0.41℃で、統計を開始した 1898 年以降では 11 番目に高い値（11 位タイ）となる見込みです。日本の年平均気温は、長期的には 100 年あたり 1.07℃の割合で上昇しており、特に 1990 年代初め以降、高温となる年が頻出しています（図 2）。

### 平均気温の変動の要因

このような平均気温の変動の要因としては、二酸化炭素などの温室効果ガスの増加に伴う地球温暖化の影響に、数年～数十年程度の時間規模で繰り返される自然変動が重なったものと考えられます。

2006 年の年平均気温の確定値は、2007 年 2 月初めに公表します。また、世界及び日本の年平均気温、月平均気温は気象庁ホームページにて随時更新・掲載しています（<http://www.data.kishou.go.jp/climate/cpdinfo/temp/index.html>）。

\*<sup>1</sup> 平均気温の平年差は平均気温から平年値を差し引いた値です。平年値としては、1971～2000 年の 30 年平均値を使用しています。

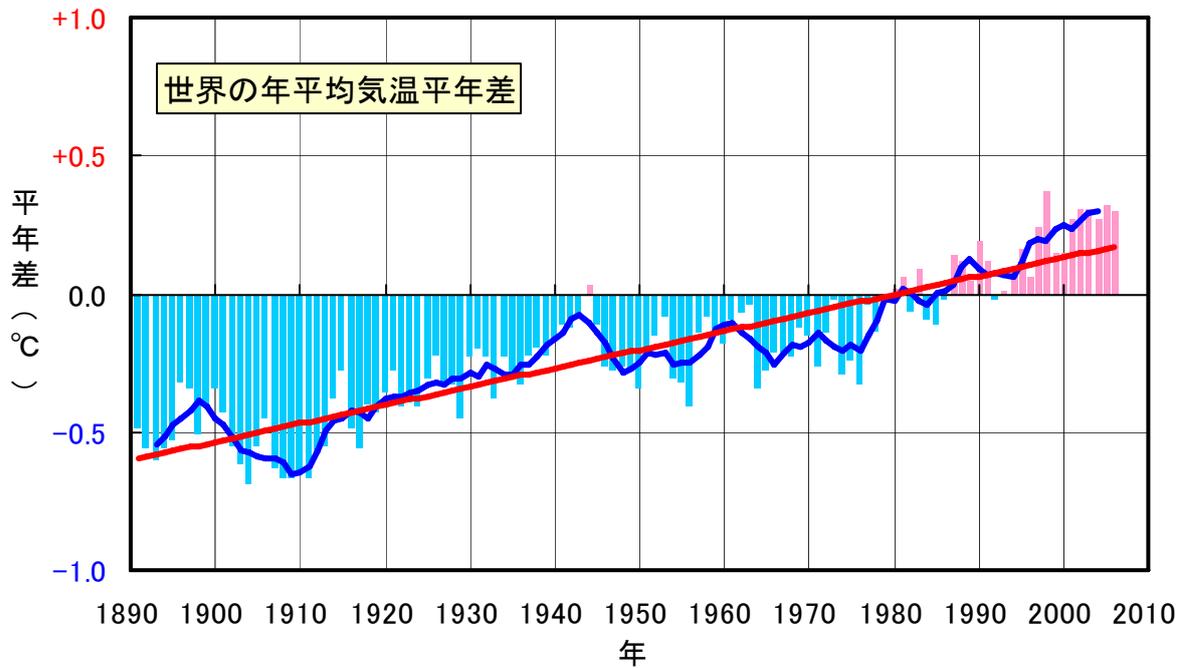


図1 世界の年平均気温の平年差の経年変化(1891~2006年)  
 棒グラフは各年の値、紺の曲線は各年の値の5年移動平均を、赤の直線は長期変化傾向を示す。  
 ただし、2006年は1月~11月の期間から算出した値を用いている。

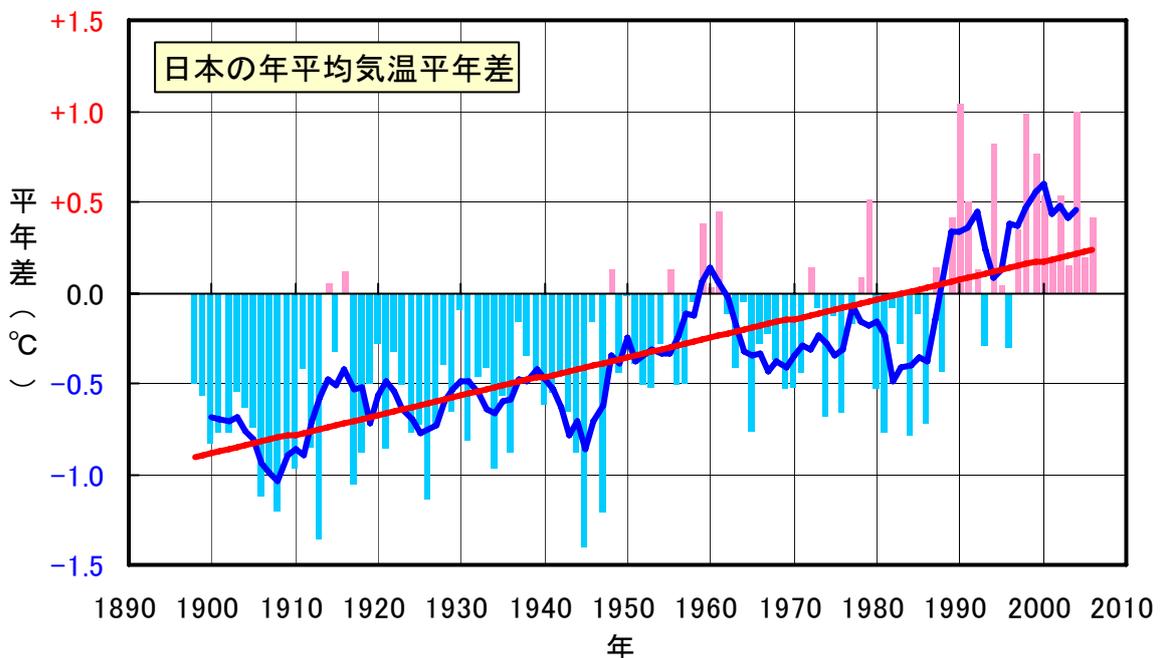


図2 日本の年平均気温の平年差の経年変化(1898~2006年)  
 棒グラフは各年の値、紺の曲線は各年の値の5年移動平均を、赤の直線は長期変化傾向を示す。  
 ただし、2006年は1月~11月の期間から算出した値を用いている。

## 世界と日本の年平均気温の順位

世界			日本		
順位	年	平年差(°C)	順位	年	平年差(°C)
1	1998	+0.37	1	1990	+1.04
2	2005	+0.32	2	2004	+1.00
3	2003	+0.31	3	1998	+0.98
	2002	+0.31	4	1994	+0.82
5	2006	+0.30 (速報値)	5	1999	+0.76
6	2004	+0.27	6	2002	+0.53
	2001	+0.27		2000	+0.53
8	1997	+0.24	8	1979	+0.51
9	1990	+0.19	9	1991	+0.50
10	1995	+0.16	10	1961	+0.44
11	2000	+0.15	11	2006	+0.41 (速報値)
	1999	+0.15		1989	+0.41

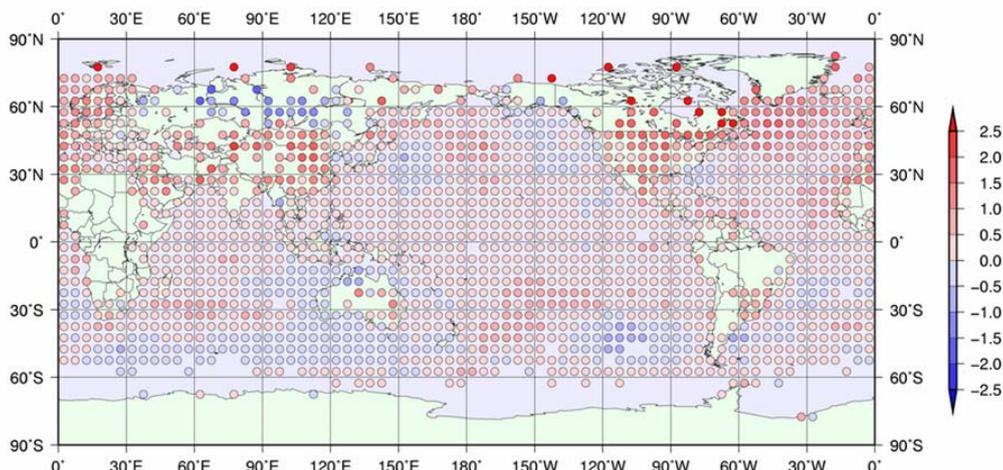
※ 上記の2006年の世界及び日本の年平均気温の平年差は、1月から11月までの月平均気温の平年差をもとに算出した速報値です。また、2006年11月の世界の月平均気温の平年差は、12月13日までに入電したデータをもとにした速報値です。

※ 2006年の年平均気温の確定値は、2007年2月初めに公表しますが、速報値とは順位、値ともに変わる可能性があります。

(参考)

## 2006年の年平均気温平年差の分布図

2006年は、シベリア中部、オーストラリア北部沿岸など一部を除き、世界的に陸上で高温となりました。特に年の後半にはアジアからヨーロッパにかけて異常高温が多く見られました。2006年の世界の海面水温は、北太平洋の北米西岸沖や日本東方沖、南太平洋のチリ沖および南インド洋のオーストラリア沖などを除き、平年より高くなりました。特に北大西洋高緯度では海面水温の高い状態が続いています。



2006年の年平均気温(1~11月)平年差を緯度、経度5度の領域ごと平均した値で示す。